



祝30周年 未永い交流を

8/
25-26

登別市・白石市姉妹都市提携30周年

8月25日(日)、登別グラウンドホテルで登別市・白石市姉妹都市提携30周年記念式典・祝賀会、26日(月)、札幌内町の『交流の森』で同記念植樹が行われました。

式典・祝賀会には、登別市と宮城県白石市のほか『トライアングル交流都市』の神奈川県海老名市や札幌市白石区の関係者と各市区民訪問団など約250人が出席し、今後のさらなる友好発展に向けて、親睦を深めました。

会の終盤には、札幌市白石区連合女性部による『白石音頭』が披露され、会場からは手拍子が起りました。

記念植樹では、各市区関係者が、今後もこの交流関係が世代を超えて根付くようことの想いを込めて、『メモリアルシンボルツリー』を植樹。その後、約150人の参加者はそれぞれの想いを込めて、ヤエザクラとエゾヤマザクラ計22本を植えました。

交流を通して国際理解を

8/
12~19

デンマーク友好都市中学生派遣交流事業

8月12日(月)から19日(月)までの8日間、市内の中学生9人と引率者2人の計11人が、友好都市のデンマーク王国ファボー・ミッドフン市を訪れました。

同市への派遣事業は、平成4年から続いており、今回で21回目となります。生徒たちは現地のリングフリー校の生徒に、英語で登別市の紹介をするなど交流しました。

また、ホームステイ先のホストファミリーと、登別マリンパークニクスのモデルとなった『イーエスコウ城』などを見学し、両市のつながりを感じていました。



▲イーエスコウ城を訪れた派遣生徒たち



▲全国大会に向けて週2回、訓練を重ねる分団員

第21回全国女性消防操法大会出場決定
登別市消防団女性分団が、『第21回全国女性消防操法大会（10月17日（休）・横浜市開催）』に北海道代表として出場します。
この大会では、ポンプと3本のホースを結合し、2つの的を落とすまでの速さと隊員の動作の安全性・正確性を競います。
山本富美子分団長は、「登別消防創設100周年という節目の年に出場できることを大変光栄に思います。みんなの気持ちを一つにして、優勝を目指します」と意気込みを語ってくれました。

女性分団 全国大会へ

大学生がアイデア溢れる政策提言

第8回全国大学政策フォーラムin登別

8/26~28

8月26日（月）～28日（水）の3日間、市民会館を会場に『第8回全国大学政策フォーラムin登別』（同実行委員会主催）が開かれ、全国各地の大学から、自治体政策を学ぶ学生9チーム約60人が登別に集いました。
今回のテーマは『人口減少社会のまちづくり～2020年の登別を考えよう～』。
学生は、26・27日に市内で行った調査を基に、28日にチームごとに政策提言を発表。福祉施策に鬼を用いた『鬼バーシテイ』構想などが発表されました。



▲政策提言を発表する大学生

新しくなった漁港で秋の恵みを堪能

第36回登別漁港まつり

9/14・15

9月14日（土）・15日（日）、登別漁港新港区で『第36回登別漁港まつり』が開催されました。
会場には新鮮な海産物などを売る出店が多数並んだほか、ステージでは、カラオケ大会やよさこいソーラン、ダンスの発表など多彩なイベントが行われ、にぎわいを見せていました。

『朝揚げ鮭抽選即売会』は特に人気が高く、参加を希望する人で長蛇の列となりました。参加者が選んで引いたひもの先から、新鮮で大きなサケが揚がると、周りからは大きな歓声が沸き上がり、サケを引き当てた参加者の顔には、喜びの表情が浮かびました。
花火大会では登別漁港の新港区完成を祝って、例年より500発多い、2千発の花火が盛大に打ち上げられました。



▲豪華な景品に驚く参加者